

I. 事業計画策定に当たっての基本的な考え方

- しまね地域医療支援センターに登録している地域枠等医師数は、年々、増加しており、令和2年4月の見込みは213人で、平成31年4月より11人増える予定。
- 地域枠等医師は、県内の医師数増加に寄与するとともに、県内の医師数に占める割合も大きくなりつつあるが、一方で、へき地等の医療機関で働く数は、依然、少ないのが現状。
- 島根県が令和2年3月に策定する医師確保計画では、県内の医師少数区域やスポット、いわゆるへき地における医師不足を解消するため、地域枠等医師の派遣促進等の取組みを進める予定であり、地域枠等医師への期待、求められる役割は、ますます大きくなりつつある。
- また、地域枠等医師の登録者が増えるにつれ、県内での勤務義務の履行とキャリアアップの両立が難しい困難事例も増えつつある。
- ついては、支援センターの最も重要な取組みである医師のキャリア支援について、専任医師や大学、関係医療機関、県、市町村と連携し、キャリア形成プログラムの活用を図りながら、よりきめ細かかつ早い時期からの取組みを推進する。

- 臨床研修医については、ここ数年、増加傾向にあったが、令和元年度のマッチング数は、51人で、前年度より減少した。
- その要因は様々考えられるが、臨床研修医アンケートや対象者からのヒアリング結果からは、人を含めた研修環境が重要との意見、指摘が多かったところである。
- ついては、臨床研修病院に対する支援や、指導医の養成の拡大、充実、臨床研修医に対する実践的な研修を行うなど、臨床研修医の70名確保の目標に向け、取組みを強化する。

- 専攻医については、令和2年度の県内登録者数は46人で、過去最高の人数となった。
- 一方、登録者のいないプログラム（診療科）もあり、今後、県内において、安定的な医療を行うためには、毎年度、一定程度の専攻医が各プログラム（診療科）に登録（入局）することが望まれる。
- ついては、県内、県外の臨床研修医への積極的な情報発信や病院見学助成などを行い、専攻医の50名確保とプログラム（診療科）偏在の解消に向け、取組みを強化する。

<重点的な取組み>

- 1 地域枠等医師のキャリア形成支援の強化
- 2 臨床研修医、専攻医の増加を図るための取組みの強化
- 3 大学、関係医療機関、県、市町村との連携の強化、“オールしまね”での取組みの強化

Ⅱ. 事業計画

1. 医師のキャリア形成支援事業 (8,573 千円)

しまねの地域医療に貢献する志を持った若手医師が県内で安心して研修・勤務できるようキャリア形成を支援する。

(1) 医師面談・医療機関調整事業

地域枠等医師や医学部6年生等に「キャリア形成プログラム」や「キャリア形成支援基本方針」の周知を図りながら面談を行い、個々のキャリアプランの作成を支援する。

令和2年度対象者見込：213名

令和元年度面談実績：対象者202名中195名（令和2年2月29日現在）

- ・令和2年度は、地域枠等医師が新たに30名誕生する予定（義務終了等があるため、登録者は差引11名増）。
- ・地域枠等医師が、円滑な県内勤務義務の履行とキャリアアップの両立を図られるよう、よりきめ細かな面談や関係機関との調整等を行い、確実なキャリアプランの作成を支援する。
- ・所属する大学医局や病院に対しては、直接訪問等を行いながら、地域枠等医師の確実な県内へき地勤務の履行、地域の医療状況に応じた人事、派遣をお願いする。
- ・地域枠等医師が勤務する病院に対し、義務履行とキャリア形成に配慮した支援をお願いする文書を送付する。

(2) 地域枠等学生へのキャリア形成プログラムの周知 **【新規】**

- ・地域枠等（島根大学医学部地域枠、緊急医師確保対策枠、県定着枠、学土地域枠、鳥取大学医学部島根県枠、県奨学金貸与）の大学5年生を対象に、キャリア形成プログラムの説明会を開催し、臨床研修マッチングを行う前に、同プログラムに基づき県内勤務義務の履行とキャリア形成を両立した確実性の高い将来計画を立てることができるように支援する。
- ・地域枠等の大学1年生を対象に、キャリア形成に関する支援セミナーを開催する。

2. 充実した研修体制支援事業 (35,704 千円)

研修体制の充実を図るため、大学、臨床研修病院、その他の病院、診療所等が連携して行う若手医師育成の取組を支援するとともに、しまねでの研修の魅力アップを図る。

(1) 研修ネットワーク支援事業 (12,913 千円)

県内で総合診療専門医や精神科医等の育成のための県内ネットワークを構築し、研修体制の充実・支援を行う。

①総合診療専門医育成ネットワーク事業（地域医療支援学講座に委託）

- ・各医療機関間のネットワークづくり
- ・総合診療専門医育成のためのプログラム作成・指導体制の整備支援
- ・医療機関・医師会・行政等と連携した総合診療専門医についての普及啓発

②精神科医キャリアアップ支援ネットワーク事業

- ・精神科医キャリアアップ研修会等の開催
- ・短期研修参加経費の助成
- ・情報発信 等

③産婦人科医師育成ネットワーク事業（島根大学産婦人科講座に委託）

- ・産婦人科研修会の開催
- ・産婦人科研修、研究体制の充実

（２）若手医師等研修支援事業（9,430千円）

①しまね臨床研修医合同研修会

臨床研修医の医師、社会人としての意識の向上やスキルアップ、ネットワークづくり等を進めるための合同研修会を開催

②しまね屋根瓦塾 **【新規】**

病院の垣根を越えて、先輩医師が若手医師に実技指導をする研修会を開催、実践的な知識を学ぶとともに、若手医師同士の刺激、交流の促進も図る。

③臨床研修環境充実支援事業

研修環境の充実を図るため、臨床研修病院が連携して行う取組を支援

ア 臨床研修病院連絡会

県全体の臨床研修の充実を図るため、臨床研修病院の担当医師、事務担当者が意見交換を行う連絡会を開催

イ 基本的臨床能力評価試験

県内の臨床研修医の研修目標到達度を客観的に評価し、各病院の研修プログラムの改善や充実に活かすため、日本医療教育プログラム推新機構（JAMEP）が実施する「基本的臨床能力評価試験」受験を支援（助成）

ウ 若手医師自主企画応援助成

しまねで頑張る若手医師（概ね40歳程度まで）の自主的・先駆的な活動の経費を助成し、若手医師のスキルアップや横断的なネットワークを構築

（３）指導医等研修支援事業（13,361千円）

①指導医講習会 **【拡充】**

厚生労働省の定める「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づく講習会を開催し、県内の臨床研修指導医の養成及び確保を図る。

令和2年度は2回開催

- ・第1回：令和2年9月18日（金）～19日（土） 島根大学医学部附属病院ゼブラ棟
- ・第2回：令和3年2月19日（金）～20日（土） 島根大学医学部附属病院ゼブラ棟

②研修・指導体制魅力化事業

県内各病院の研修・指導体制の向上を目的とした取り組みを支援（助成）し、各病院の魅力化を図り、若手医師の県内定着に繋げる。

③指導医ブラッシュアップ研修 **【新規】**

臨床研修医をはじめとした若手医師の育成において、重要な役割を担う指導医の指導スキルやモチベーションの向上を図り、病院や診療科での若手医師育成の中核となる人材を養成するための研修会を開催する。

3. 研修医確保に向けた情報発信事業 (17,360千円)

島根大学医学部や島根県出身等で県外の大学に在籍している学生や臨床研修医等に対して、多様な媒体を活用して、島根県の研修プログラムの魅力や若手医師の応援体制等をPRする。

(1) 県内病院合同説明会等開催事業 (11,196千円)

①県内での臨床研修病院合同説明会の開催

島根大学医学生や県外の医学生を対象に、県内の臨床研修病院が一堂に会して臨床研修プログラムや指導体制をPRする合同説明会を開催

- ・令和2年6月5日(金) 島根大学医学部 臨床大講堂及び学生ラウンジ(予定)
- ・令和3年2月12日(金) 島根大学医学部 臨床大講堂及び学生ラウンジ(予定)

②県外での臨床研修病院合同説明会への出展

東京、大阪で開催される臨床研修医向けの病院合同説明会に参加

- ・令和2年7月5日(日) レジナビ大阪(インテックス大阪)
- ・令和2年9月13日(日) レジナビ東京(パシフィコ横浜)

③県内での専門研修病院合同説明会の開催

県内の初期臨床研修医に向けて「しまね専門研修プログラム説明会」を開催

- ・令和2年6月5日(金) 島根大学医学部附属病院
- ・令和2年7月31日(金) 松江市内
- ・令和3年2月12日(金) 島根大学医学部附属病院

④県外での専門研修病院合同説明会への出展

大阪で開催される専攻医(専門研修)向けの病院合同説明会に参加

- ・令和2年6月7日(日) レジナビ大阪(コングレコンベンションセンター)

⑤県外医師・医学生交流会の開催

レジナビ出展にあわせて、開催地周辺の医学生や若手医師(センター登録者、県内医師の同期、友人等)と県内医療関係者(レジナビ参加研修医、指導医等)との交流会を開催

- ・令和2年7月4日(土) 大阪市内
- ・令和2年9月12日(土) 東京都内

⑤病院見学旅費支援

県外からの臨床研修医、専攻医を増やすため、県外の医学生や医師が県内病院を見学する際の旅費を支援(助成)

- ・医学生を対象(臨床研修医の確保)
- ・臨床研修医を対象(専攻医の確保)

【新規】

⑥中学生・高校生の医療現場体験セミナーの開催 **【新規】**

将来の医療人材の確保につなげるため、医療に興味のある中学生、高校生を対象に、しまねの医療現場を体験してもらうセミナーを開催

(2) 多様なメディアを活用した情報発信事業 (6,164千円)

島根県の研修プログラムの魅力や若手医師の応援体制等を、多様な媒体を利用して広くPRする。

- ①フェイスブックやホームページにより、センターや大学、病院等の取り組みを小まめに発信
- ②島根県臨床研修指定病院ガイドブックの発行
- ③支援センターマガジンの発行
- ④オリジナルグッズの制作

4. ワークライフバランスの推進 (8,546千円)

出産、育児、介護等による医師の離職防止、復職支援等の推進を図ることを目的に、県内ネットワークの構築、医療機関等の相談・支援体制の構築を図り、仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境を整備し、女性医師等のキャリアサポートを推進する（地域医療支援学講座に委託）。

(1) ワークライフバランス復職支援体制強化事業 (6,530千円)

①相談窓口の設置

出産、育児後の女性医師等が安心して職場復帰できるための「えんネット」相談窓口設置

②復職支援プログラム作成支援

オーダーメイド型の復職支援プログラムにより、復職のために必要なサポートを実施

(2) サポート体制充実事業 (2,016千円)

①情報収集・情報発信

育児や介護、地域の子育て情報など、復職に対し必要な情報を発信

②女性医師等ネットワーク形成

仕事に復帰したいと考えている女性医師等を対象にした情報交換やネットワークづくりや、復職支援の企画等の意見を聞く場としてランチミーティング等を開催

③研修会託児等支援

5. 関係機関との連携体制の構築 (2,203千円)

若手医師が研修、勤務しやすい環境整備に向けた県内の支援体制の構築に向け、専任医師や大学、病院、県、市町村等との連携体制を強化するための定例会、連絡会等を開催する。

①トップセミナーの開催

県内の病院長や地方自治体のトップを対象に、医師確保や地域医療の充実、医師のキャリア支援等をテーマとしたセミナーを開催

・開催時期：令和2年6月29日

・会場：ニューウェルシティ出雲（出雲市）

②センター定例会の開催

・開催日：毎週1回

・参加者：支援センター専任医師、事務局職員等

・内容：センター事業の企画・立案、事業実施状況の報告、検証、課題等の意見交換

③圏域別市町村・医療機関への情報提供、連携の強化 **【強化】**

支援センター職員が関係病院や市町村を直接訪問し、情報提供や地域課題の共有等を図りながら、より一体的な取組みを推進

④島根大学医学部附属病院各診療科並びに医学部関係講座との連絡協議会

支援センターの取組み状況の報告や地域医療の状況、課題等に関する意見交換を行うため、月1回、大学医学部附属病院各診療科、講座との連絡協議会を開催

6. 医師不足状況等の把握・分析 (1,055千円)

県内の地域医療に資する調査・研究事業を推進し、医療状況の把握・分析を行う。

・地域枠等医師の動向、派遣・配置状況

・初期研修医の動向調査、研修状況

・県調査、国調査に基づく県内医療資源の分析 等

しまね地域医療支援センター令和2年度事業計画の変更

新型コロナウイルス感染防止のため、次のとおり、事業の実施方法を変更します。

また、各事業の実施にあたっては、今後の感染状況を踏まえながら、成果が上げられるように柔軟に対応してまいります。

1 医師のキャリア形成支援事業

(1) 医師面談・医療機関調整事業

地域枠や奨学金の貸与を受けた医師、医学部6年生等との面談を行い、個々のキャリアプランの作成を支援

【実施方法の変更】

- ・当面、WEBも活用（特に県外）して、専任医師とともに面談を実施

2 充実した研修体制支援事業

(2) 若手医師等研修支援事業

①しまね臨床研修合同研修会

臨床研修医の医師、社会人としての意識の向上やスキルアップ、ネットワークづくり等を進めるための合同研修会を開催

【実施方法の変更】

- ・4月の研修会は中止し、下記講演内容を録画、配信
- ・6月から配信開始予定
- ・新型コロナウイルス感染の状況等を踏まえながら、年度後半での集合型研修の開催も検討

《講演内容》

No.	講演	講師	分
1	初期1年次へのメッセージ	島根県医師会 会長 森本 紀彦 しまね地域医療支援センター 理事長 井川 幹夫	10
2	研修生活を10倍楽しくする方法	島根大学医学部附属病院卒後臨床研修センター 専任助教 和足 孝之 先生	45
3	新たな研修医に伝えたいこと（仮）	松江赤十字病院 院長 大居 慎治 先生	45
4	メンタルヘルスケア研修	島根大学医学部附属病院卒後臨床研修センター 副センター長 岡崎 四方 先生	45
5	虐待への対応について（仮）	前橋赤十字病院小児科 副部長 溝口 史剛 先生	60
6	これからの医師に患者から望むこと	認定NPO法人ささえあい医療人権センター COML 理事長 山口 育子 氏	60
	しまねの研修医応援メッセージ	知事、島根に縁のある著名人 等	

3 研修医確保に向けた情報発信事業

(1) 県内病院合同説明会等開催事業

①県内での臨床研修病院合同説明会の開催

島根大学医学生や県外の医学生を対象に、県内の臨床研修病院が一堂に会して臨床研修プログラムや指導体制をPRする合同説明会を開催

【実施方法の変更】

- ・6月の説明会は中止し、マッチングシステムや臨床研修病院を紹介する動画を制作、配信
- ・6月下旬から公開

《病院紹介動画内容》

- ア 病院紹介
- イ 研修医インタビュー
- ウ 指導医インタビュー

②県外での臨床研修病院合同説明会への出展

東京、大阪で開催される臨床研修医向けの病院合同説明会に参加

【事業方法の変更】

- ・県外での説明会（7月、9月）参加は中止
- ・上記説明会主催者ホームページで県内臨床研修病院を紹介、PR

③県内での専門研修病院合同説明会の開催

県内の初期臨床研修医に向けて「しまね専門研修プログラム説明会」を開催

【実施方法の変更】

- ・6月の説明会は中止し、WEBを活用し、研修医と専門研修病院・医局との面談、説明会を開催

④県外での専門研修病院合同説明会への出展

大阪で開催される専攻医向けの病院合同説明会に参加

【事業方法の変更】

- ・県外での説明会（6月）参加は中止
- ・上記説明会主催者ホームページで県内専門研修病院を紹介、PR

5 関係機関との連携体制の構築

①トップセミナーの開催

県内の病院長や地方自治体のトップを対象に、医師確保や地域医療の充実、医師のキャリア支援等をテーマとしたセミナーを開催

【事業方法の変更】

- ・6月の総会後の開催は中止
- ・新型コロナウイルス感染の状況等を踏まえながら、年度後半での開催を検討